

収蔵作品展 日本画と俳句にみる四季—ひびきあう絵と言葉

会 期 2009年11月22日(日)～2010年1月21日(木)

四季おりおりの自然に恵まれた日本では、古来、季節は美術や文学の重要なテーマとされてきました。美術の分野では、掛軸や屏風などを季節ごとに変えて日常空間を彩り、そこに描かれた自然に心を沿わせる習慣があります。また文学の分野では、詩歌のなかに多彩な表現で季節を詠みこんできました。とりわけ「季語」という約束ごとのある俳句においては、季節を愛でる日本人の繊細な情緒が発揮されています。

本展覧会では春夏秋冬の各季をテーマに、高崎市タワー美術館の収蔵作品より約40点を展示するとともに、それぞれの画題に合わせた季語をもつ俳句を紹介し、絵と詩歌の響きあい、彩りと言葉の交歓をお楽しみいただきます。また、お正月を迎える季節に合わせ、新春を寿ぐ絵画と俳句も展示いたします。あわせて、高崎市タワー美術館の平成21年度新収蔵品より一部を紹介いたします。

会 場 高崎市タワー美術館 (370-0841 高崎市栄町3-23 電話 027-330-3773)

時 間 午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ午前10時～午後8時 (入館は午後7時30分まで)

休 館 日 月曜日 (祝日の場合は開館、翌日休館)、年末年始12/28～1/4

会期中の休館日：11/24・30、12/7・14・21・24、12/28～1/4、1/12・18

観 覧 料 一般：200円(160円)、大高生：160円(100円)

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

関連事業

- ミュージアムコンサート 「リコーダーとギターで聴く季節の調べ」 1/15 18:30～
- 作品解説会 11/28、12/12、1/9 14時～